

# 1 部

学習サポート

## 各種申込締切について

- 『試験・スクーリング情報ブック2018』にてご確認ください。
  - ・ p. 4～5 → 学年暦
  - ・ p. 16～23 → 通信教育部カレンダー
  - ・ p. 47～50 → 社会福祉士 演習・実習科目関連締切等
  - ・ p. 51～53 → 精神保健福祉士 演習・実習科目関連締切等

## 9 / 25 ～ 12 / 2 の追加・変更点

- 追加履修登録の申込開始日、『With』掲載号
  - ・ 申込開始日  
(変更前) 11月下旬 → (変更後) 9月20日
  - ・ 『With』掲載号  
(変更前) 11月号 → (変更後) 9月号※本冊子 p. 43～44
- 北海道在住者に対する、社会福祉士演習・実習関連の締切延長  
9 / 15締切の提出物(申込書類・レポート)を、9 / 30まで延長受付いたしますので、諦めずにご提出ください。

### ————— 地震および大雨等にて被災された皆様へ —————

北海道胆振東部地震、および台風21号や平成30年8月30日からの大雨にて被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

災害救助法が適用される地域にお住まいで、教材・副教材に損傷を受けられた方には無料再交付をいたします。その他、被災により配慮を希望される場合は通信教育部へご相談ください。

# 疑問そして連想を いくつ思いつきますか

教員 MESSAGE

教授 秋田 恭子

皆様どんな目的で通信教育部に入学されましたか？ 明確な目的があって入学された方もいらっしゃるでしょうし、自分が自分のためにだけ使える時間が出来たから自分の興味のある勉強をなにかしたいと思って入学された方もいらっしゃるでしょう。あるいは、漠然と目的なく大学あるいは大学院卒の資格を取得したいと思って入学された方もいらっしゃると思います。そんなそれぞれの目的で入学された皆様は、今楽しく過ごされていますか？ それともかなりしんどくなって、入学されたのを後悔されていますか？

ところで、楽しく過ごされている方は何が楽しいのでしょうか？ 学ぶことによって、自分が今まで知らなかった世界がどんどんひろがっていき、わくわくされているのでしょうか。一方でつまらなく感じて、入学を後悔されている方はどういう所がつまらないのでしょうか。学んでいる学問の分野ですか？ その学問内容が当初思っていたようなものではなかったのでしょうか。それともレポートを仕上げることでしょうか。確かに、レポートは自分が書きたくなったときになにか書くのとは違って、課題は決まっているため自分で好きなテーマを選べない。そして、字数まで決まっていて自由がないと感じられていらっしゃる方もいらっしゃると思います。それでは、つまらなく感じ始めている方はその事態をどう考えれば良いのでしょうか？

さて、私はここまでたくさんの「？」をつけてきました。そもそも「？」つまり疑問とは何でしょうか。疑問とは『広辞苑』によれば「疑問をいだく」などと使い、疑い問うことです。つまり、何かを見たときに、聞いたときに、感じたときに、「本当にそうなのか？」と問うことです。勉強が

つまらないといっているけど本当にそう思っている？ そしてどこでそう思うの？ なにがそうさせるの？ ずっとそうだった？ 最近そうだった？ 等々です。

こうしたときに、つまり、「つまらない」とか「つらい」そして、「たのしい」という表現で自分の気持ちを片付けられないことです。もちろん時にはあまりにも辛くて少しそこから抜け出したいくて、その気持ちにふたを閉めてしまったりもします。そしてそれ以上そのことについて考えないようにすることもあります。それを意識的に「取りあえず今日はそのことは考えないようにしよう」とする場合もあれば、瞬時に無意識に心のどこかにあわててしまい込んで、なるべく出てこないようにしようということもあります。意識的にしまいこんだ場合には、あれはどういうことだったのかと、そのことと再び向き合うという作業をおこなうこともあり、それによってその出来事を深く考え自分についてはもとより自分以外の人や出来事についてのある種の考えに至ることもあります。

一方、心の奥に慌ててしまわれたものは、その後のその人の人生の中で、色々な形で現れてきます。例えば、それはフロイトのいった、ヒステリーという状態で現れてくることもありますし、人に対して向ける感情によっても現れてきます。内科的な病気になって出てくることもあります。つまり、一端こころの奥にしまったとしても、それはそのままなくなることはないのです。そして、どういうことでこういう状態になっているのか？ということに目を向ける必要が出てきます。

お気づきのように、心理療法は、いつもこのようにたくさんの方に囲まれています。「どうしてこの人はそのことが悲しいのだろうか？」「どうして私は今悲しいのだろうか？」「どうして今この人はこの話をして笑っているのだろうか？」等々です。多くの疑問を持ちながらああでもないこうでもない連想をひろげてその人の真実に辿り着こうというプロセスが心理療法です。カウンセラーは、いかに多くの疑問をもち、そこから連想を

ひろげ、面接の中で、それらを思い浮かべながら連想をつづけ、そしてそれらに思いをはせ、そしてそれを通して相手を理解していくというのが心理療法の醍醐味でもあります。もちろん時には全くといって良いほど疑問が浮かばない面接もあります。そこでもまたどうして疑問が浮かばないのか？ なにも思いつかなくなっているのはなぜなのか？ という連想をします。

行き詰まった時そして同時に楽しく感じている時に何がそうさせているのかと疑問に思い、そのことを通して連想し続けてみてください。もしかしたら何か今まで気づかなかった思いや考えに至るかもしれないからです。

## スクーリング・アンケートより(1)

アンケートより、スクーリング講義の感想を抜粋しました。

### ●保健医療サービス論 山本 邦男

- ・これまでの学びや知識が実に表面的で、利用者の気持ち、思い、願いに寄り添っていない中途半端な関係であったことに気付かされました。「ニーズ」「バイスティックの7原則」「エンパワメント」など、用語を含めて掘り下げていくきっかけをいただきました。後半の学習に役立ってます。
- ・法律や制度は人権や暮らしを守るものであるが、本人を裁くだけでなく、そこにもなう社会の背景や社会の責任を理解し考えることの大切さを学んだ。ソーシャルワーカーとして他職種と連携をとるときも、知識を必要時にプレゼンする力の大切さを学ぶことができた。

### ●社会福祉援助技術論A 川口 正義

- ・不登校やひきこもりなど、身近な事例がほとんどであったため、とても関心もてました。川口先生がしていること、言葉では表せないほど大変で、誰にでもできることではないと思います。私も人に寄り添い、フットワークの軽い人間になりたいです。
- ・社会福祉士のあるべき姿、役割について理解が深まった。先生と同じようにはできないが、存在が目標となり、意欲につながる。今回の受講は、自分も社会の一助になりたい(社福士としても人間としても)と思えるものだった。

### ●社会福祉援助技術論B 川口 正義

- ・「貧困」の問題と「子ども」を結びつけて考えたことがなかったので、視野が広がるきっかけになった。教科書には載っていない現場の生の声を知ることができるので、より深い時間になった。
- ・現場の生の声、ソーシャルアクション、なければ作っていく。行政などを巻き込んで社会資源を作りあげていくことが大切であると感じた。また、どの教科にもリンクするものであり、各分野(教科)をしっかりと学んでいく必要があると感じました。

### ●福祉社会学 赤塚 俊治

- ・社会学という分野を通して、集団や家族のあり方、人の生活の豊かさというものを改めて学ぶことができた。とにかく先生の熱い講義！それが一番印象的でした。
- ・教科書の内容だけでなく、先生の実体験も交えて講義してくださっていて、とても勉強になりました。山谷のお話など、少しショッキングでしたが、そういった現実からも目を背けないようにしなければならぬと考えさせられました。